

国際シンポジウム

上海フランス租界の 記憶と記録

グローバル・ヒストリーの入り口として

フランスの外交政策と民間(教育者、芸術家、
宣教師など)の文教活動に焦点を当て、
上海フランス租界(1849-1943)を舞台とした
国際的な文化交流の諸相を検討します。

2026 **3/6** Fri.
10:00-18:00

早稲田大学26号館 大隈記念タワー
地下1階ホール

対面開催/日本語/通訳なし

事前登録制、参加費無料

参加をご希望の方は、以下のURLまたはQRコードからアクセス
して、3月4日(水)までにお申し込みください
(先着100名)。

<https://forms.gle/zMjUqqMBGG4QSYC96>



主催:科学研究費助成事業 基盤研究(B) 24K00102
「上海フランス租界(1849-1943)の文教活動に関する
多言語で領域横断的な研究」
(2024~2026年度 研究代表者:野澤丈二)

科研費
KAKENHI

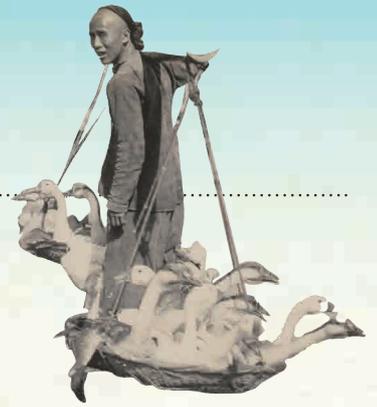
お問い合わせ:
nozawa[アットマーク]waseda.jp

プロジェクトHP:
<https://fazujie2024.wixsite.com/fazujie>



Program

- 9:30 受付開始
10:00 開会挨拶・趣旨説明 野澤 丈二
中国における研究動向 趙 怡



第1部: 統治のメカニズム

10:20~12:00

1. 「上海の2つの租界: 共同租界とフランス租界」
藤田 拓之(大阪産業大学)
2. 「上海フランス租界とフランス外務省: 駐上海総領事の外交書簡を中心に」
学谷 亮(中央大学)
3. 「中国におけるパリ外国宣教会(MEP)のProcure(プロキュール)の役割と沿革: 上海を中心に」
ル・ルー清野 ブレンダン(法政大学)

コメント: 藤森 晶子(歴史ジャーナリスト)

12:00~13:00: 昼休み

第2部: 語られた上海、描かれた租界

13:00~14:40

4. 「Le Journal de Shanghai(『法文上海日報』)が報じたモダン上海: 1933年日曜特集を中心に」
趙 怡(関西学院大学)
5. 「英字新聞に見るアリアンス・フランセーズの活動」
野澤 丈二(早稲田大学)

6. 「日本人「老上海」が見たフランス租界」
榎本 泰子(中央大学)

コメント: 郭 南燕(明治大学)

休憩(10分)

第3部: 移動する人たちの記憶

14:50~16:30

7. 「シャルル・グロボワと沈仲俊: 芸術、教育界における協働(1919~1950)」
井口 淳子(大阪音楽大学)
8. 「日露中仏の音楽界を結んだ指揮者: A. スルツキーの音楽活動の軌跡」
森本 頼子(名古屋音楽大学)
9. 「上海アルメニア人コミュニティと西洋食」
二村 淳子(関西学院大学)

コメント: 吉川 弘晃(明星大学)

休憩(10分)

- 16:40 総合討論
17:40 総括 二村 淳子
18:00 終了



写真提供元: (表面右下) 無用文庫
(表面下) Virtual Cities Project
(裏面右上) Rijksmuseum